



〈目標8〉働きがいも 経済成長も

すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

「働く」と「仕事」の社会インフラを目指す

2013年5月、大阪市西区鞠本町に就職支援施設「ハローライフ」が設立された。NPO法人スマイルスタイルが2011年から行ってきた若者就職支援事業（大阪府からの委託）の実績を踏まえて独自開設をした、「働く」と「仕事」の情報発信基地である。「あなたの人生にいい予感を運ぶ、仕事ライブラリー」というキャッチコピーのもと、企業の魅力を発信する求人記事のほか、一度就活というルールから外れてしまった若者のための就職支援プログラムや時代に合った新しい職業観や働き方との出会いなど、様々なプログラムを提供している。

現在、人口動態や産業構造の急激な変化によって、雇用者と求職者それぞれの立場に歪みが生じている。雇用者にとってはバブル崩壊後の景気の低迷により、よい人材を獲得するための広告費や人材育成費を確保できない企業も多い。特に中小企業では直接学生や求職者に訴求することが難しく、従業員

多様なイベント・プログラムの一部

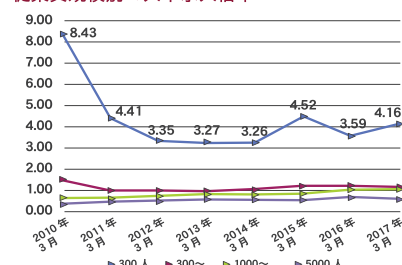
当事者の声を集める 大阪ニート100人会議

ニート・ひきこもり状態にある若者約100名が集結し、10時から18時すぎまで丸一日かけて、理想の働き方やそれに向けた課題、必要な就職支援策についてディスカッション。この日に生まれたアイデアが「大阪レイブル超就活」につながる。

採用直結型インターン 大阪レイブル超就活

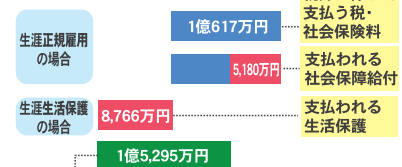
「履歴書の空白期間があると書類選考すら通らない。」という現実に対し、書類選考を撤廃し、数週間に渡る職場体験の後に企業が採用を判断する仕組みを試行。
※レイブルとは…late broomer（レイト ブルーマー）の略。
ニートの中で、働く意志を持ち行動している若者を指す。

従業員規模別の大卒求人倍率



出典：リクルートワークス研究所

正社員と生活保護のコストギャップ (正規雇用される25歳単身男性のケース)



就労に伴って支払う税・社会保険料
支払われる社会保障給付
支払われる生活保護

正社員と生活保護の1人当たりにおける社会が負担するコストのギャップ(生活保護を受給し続けた場合と働く意欲のあるものが就労を通じた場合の社会保障等に与える影響を試算)

出典：厚生労働省「生活保護を受給し続けた場合と就業した場合の社会保障等に与える影響について」(2012年)

コミュニティの力を活用 縁就活

就職先との縁だけではなく、一緒に学び、励まし合う仲間との縁、さまざまな業界で活躍する人々との縁など、たくさんの「縁(つながり)」の力による就職支援プログラム。「スポット講座」や1ヶ月の集中プログラム「縁就活スクール」を通じ、スキルアップだけでなく、キャリアそのものを考える。

「働く」ことをサポート CHASHITSU factory

「ハローライフ」階にある日本茶カフェ「CHASHITSU for worker」で販売する和菓子やお茶などの商品は4階「CHASHITSU factory」で製造されている。就職を目指す若者がこの商品製造過程を経験することで、スキルや社会人基礎力を身につけることができる中間的就労の場。

卒)と人材不足に関する企業の悩みは尽きない。そこでハローライフでは、待遇や条件、業務内容といったいわゆる一般的な情報だけではなく、代表者のメッセージや現役社員のインタビューといった、そこで働く人のリアルな思いにフォーカスを合わせることで、魅力を伝えミスマッチを発生させないためのきめ細やかな求人情報を作成している。

他方、求職者が置かれている状況も厳しい。雇用の流動化の負の側面として非正規雇用が増大し、「すべり台社会」と形容されるように就活での失敗や病気による離職など何かのトラブルで一度レールを踏み外すとその後の就活が不利になり、そのまま困窮状態にまで陥ってしまう若者が増えている。そのような中、ハローライフではコミュニティや場づくりを通じた就職支援を提供している。これらのプログラムの先にあるのは、企業が優秀な人材を獲得することだけでも、自己実現だけでもない。「働く」を通じて人々の暮らしを豊かにすることである。



ハローライフ外観



縁就活などのイベント



- ファシリテーション手法を用いたイベント運営で、学びの効果を高める。
- プログラムOB・OGが、イベントなどにまた顔を出すコミュニティづくり。

大阪府

大阪府は東京都に次いで全国第2位の県内総生産を誇り、経済や文化、交通などあらゆる分野における西日本の中心都市である。国内有数の大企業の本社・本店の集積地であり、突出した生産年齢人口を抱えてはいるが、今後は日本全体の少子高齢化と国内市場の縮小に伴い、より一人当たりの府内総生産の維持・成長が求められる。

Data 2016年8月1日現在

- 人口: 8,840,086人
- 世帯数: 3,956,454世帯
- 面積: 1,905.14km²

[NPO法人スマイルスタイル] <http://smilestyle.jp/>
[就職支援施設 ハローライフ] <http://hellolife.jp/>